東京YMCA国際ホテル専門学校　2023年度　　科目一覧

ホテル科　　教養科目

ホスピタリティ基礎トレーニング

ホームルーム

コンピュータの基礎知識

SDGs理解講座

キャリアデザイン

現代社会と時事問題

ビジネスコミュニケーション

就職指導

体育

就職指導

ホテル科　　専門科目

接遇マナー1

宿泊サービス実務

料飲サービス実務

ホテル旅館概論

ホスピタリティ理解講座

ENGLISH FOR HOTEL / RESTAURANT WORK

GENERAL ENGLISH A

ホテル業界入門講座

ホテル事情

接遇マナー2

簿記

危機管理論

HOTEL ENGLISH

ホテルマーケティング

栄養学

BUSINESS ENGLISH 1 A

BUSINESS ENGLISH 2 A

BUSINESS ENGLISH 3 A

授業進行などによって、実際の内容に変更がある場合があります。

（2023年6月19日現在）

東京YMCA国際ホテル専門学校　2023年度　　科目一覧

BUSINESS ENGLISH 4 A

オリエンタルフードサービス

食品衛生

料飲･宴会マネジメント論

宿泊マネジメント論

サービス介助論

ホテル科　　実習科目

企業実習事前授業

企業実習登校日授業

ホテル科　　選択科目

ホテルビジネス実務検定試験対策講座

TOEIC BASICS A

TOEIC BASICS B

HOTEL CONVERSATION : ROOMS

HOTEL CONVERSATION : F&B

GENERAL ENGLISH B

GENERAL ENGLISH C

ENGLISH STRUCTURE 1

ENGLISH STRUCTURE2

ENGLISH STRUCTURE3

TED MASTERCLASS

フランス語

韓国語1

中国語1

中国語2

イタリア語

手話1

手話2

日本語1

料飲サービス検定対策講座

授業進行などによって、実際の内容に変更がある場合があります。

（2023年6月19日現在）

東京YMCA国際ホテル専門学校　2023年度　　科目一覧

ワインコーディネーター／ソムリエ講座

ショーマンシップ

メニュープランニング論

レストランサービス技能検定受験対策講座

レストランサービス技能検定受験対策講座(実技)

ブライダル基礎

ブライダルマーケティング論

PMS（プロパティマネジメントシステム)

ツーリズム商品計画論１

ツーリズム商品計画論２

観光心理学とデジタルマーケティング1

ホテルDXマーケティング概論

総支配人論

ＹＭＣＡとボランティア

ビジネスコミュニケーション２

プラクティカル・プレゼンテーション

表計算1

日本語文書処理

日商PC検定試験対策講座

教養実務

話し方講座1

リーダーシップ論

グローバルスタディ

デジタルコミュニケーション論

授業進行などによって、実際の内容に変更がある場合があります。

（2023年6月19日現在）

【科目名】ホスピタリティ基礎トレーニング

【担当教員】及川　郁也

【科目コード】20230H0314　　【単位数】2単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】教養科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】実習科目

【履修条件】

【授業の目的】ホスピタリティ産業に従事する為の基礎を学ぶ

【教材】ホスピタリティを育てる物語

【教材費（概算）】1540円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：「挨拶」「立居振舞」「身だしなみ」の講義、実践

第2回：

第3回：

第4回：

第5回：

第6回：

第7回：

第8回：

第9回：

第10回：

第11回：

第12回：

【成績算出法】授業に参加した場合「P」　不参加の場合「F」

【備考】使用教科書は新入生オリエンーションで配布したもの

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ホームルーム

【担当教員】平島　莉沙子

【科目コード】20220H0207　　【単位数】2単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】教養科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修

【授業の目的】①お知らせ　②身だしなみ確認

【教材】証明写真代

【教材費（概算）】2350円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：学校生活においての注意事項の説明やインフォメーション

第2回：履歴書作成について　書き方、提出方法、注意事項の説明

第3回：球技大会の説明　身だしなみ確認　履歴書再指導

第4回：球技大会内容説明

第5回：ホテルリサーチのやり方説明　球技大会委員会からインフォメーション

第6回：ホテルリサーチ　その他インフォメーション

第7回：ホテルリサーチ　その他インフォメーション

第8回：外部講師　ライフプランについて

第9回：リゾート実習インフォメーション　野尻湖合宿インフォメーション

第10回：宿泊実務試泊の注意事項　ホテルリサーチ　その他インフォメーション

第11回：予備日

第12回：予備日

【成績算出法】4回以上欠席は『F』　それ以外は『P』

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】コンピュータの基礎知識

【担当教員】池元　奏

【科目コード】20230H0006　　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】教養科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ホテル科1年次必修

【授業の目的】この講座では「パソコンが正しく使える」ためのスキルを習得することを目的とする。商業、工業、総合学科出身のパソコンを使い慣れいている学生から、なんとなくパソコンは使えるが基本的な知識のないままほぼ自己流で今日に至っている学生まで様々なレベルの学生を対象に、前者には復習を兼ねて、後者は正しい基礎知識とスキルの習得を目指し実技を交えた学習を展開する。

２年後の就職時に「ITスキルと知識をもったホテルスタッフ」となることが本講座の最大のテーマである。

【教材】世界一わかりやすい パソコン入門テキスト Windows 11 + Office 2021/2019/Microsoft 365対応版・USBメモリ

【教材費（概算）】2000円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Windowsとキーボード・マウス・基本操作①・授業オリエンテーション　・パソコンの起動からデスクトップ画面の名称と役割

第2回：Windowsとキーボード・マウス・基本操作②・マウスの基本操作/タッチパネルの操作　・スタート画面の名称/アプリの起動と終了　・エクスプローラーの起動と画面構成　・ウィンドウの基本操作とパソコンの終了　★小テスト①

第3回：文字の入力①・キーボードの使い方　文字入力①　☆タッチタイピング練習

第4回：文字の入力②・キーボードの使い方　　文字入力②　☆タッチタイピング練習

第5回：文字の入力③・キーボードの使い方　　文字入力③　☆タッチタイピング練習

第6回：ファイル・フォルダーの操作①・ファイルの基本操作　　保存されているファイルの確認/ファイルの移動　ファイルのコピー・削除　・フォルダーの基本操作/ファイルの圧縮と展開　☆タッチタイピング練習

第7回：ファイル・フォルダーの操作②・フォルダーの基本操作　　フォルダーの表示/新しいフォルダーの作成/名称の変更　・ファイルの圧縮と展開　・ファイルやフォルダーの検索　エクスプローラーやスタートメニューからの検索方法　☆タッチタイピング練習　★小テスト②

第8回：インターネットの安全な使い方とITリテラシィ・インターネットでの検索方法　・Webページの印刷方法・ホテルにおける個人情報の取り扱いと情報セキュリティの基礎知識　☆タッチタイピング練習

第9回：メールの基礎知識①・メールの利用方法、アカウント設定、送受信　・メール添付ファイルの送受信、CCとBCC　・メールの作成、署名　☆タッチタイピング練習　★小テスト③

第10回：メールの基礎知識②・メール文章作成(社内文書編)　　予約手配、変更、確認

第11回：メールの基礎知識③・メール文章作成(社外・お客様へのメール)　　ホテル案内、予約の確認、変更、交通案内　★小テスト④

第12回：授業内試験

【成績算出法】

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】SDGs理解講座

【担当教員】小畑　貴裕

【科目コード】20230H0337　　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】教養科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】SDGS(持続可能な開発目標）を理解し、貢献できる人材の養成

【教材】デライト式「SDGs・ESG経営カード」

【教材費（概算）】3300円

【受講目安人数】50名　×　2クラス

【授業内容】

第1回：YMCAを理解する　YMCAとSDGｓ

第2回：SDGｓ　17の目標について

第3回：ホテル・旅館業界が取り組むSDGｓを調べよう。（グループワーク①）

第4回：プレゼンテーション資料の作成（グループワーク②）

第5回：プレゼンテーション　Day１

第6回：プレゼンテーション　Day２

第7回：個人で始める、SDGｓ。何からはじめる。どう続ける。

第8回：学校で取り組むSDGｓ。何からはじめる。目標設定。

第9回：企業が取り組む、業界が取り組むSDGｓ事例紹介（外部講師）

第10回：SDGｓシュミレーションゲーム（外部講師）

第11回：SDGｓシュミレーションゲーム（外部講師）

第12回：期末テスト

【成績算出法】出席　40%　課題提出　30%　期末テスト　30%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】キャリアデザイン

【担当教員】黒滝　昌実　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20230H0208　　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】教養科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修

【授業の目的】（１）「働くこと」「生きること」「人生」の意味を考える

（２）「自律した人間」を目指す

（３）「社会人」になるための職業意識を育てる

（４）「自分」を知り、自分のキャリアを形成して今後の人生に備える

（５）2年次の就職指導に関連づける

【教材】教材費（キャリアデザイン）

【教材費（概算）】500円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：導入講義　授業の目標・グランドルール・講義概要・キャリアとは何だろう・3つの問いかけ・ジョハリの窓

第2回：自己理解（自分を知る）１　エゴグラムを書いてみる・自分の性格を知る・自分のホランドタイプを知る

第3回：自己理解（自分を知る）２　あなたは今、億万長者です・キャリアアンカーを探る

第4回：自己理解（自分を知る）３　「自律的キャリア社会」では「学習歴」が欲しがられている・ライフライン分析をする

第5回：自己理解（自分を知る）４　「やる気の絶対的な方程式」を知る・ライフロールを書こう

第6回：自己理解（自分を知る）５　「社会人基礎力」を自己分析してみる

第7回：自己理解（自分を知る）６　「強みと弱み」を探る

第8回：自己理解（自分を知る）７　「もっと分かった自分」はどんな人？

第9回：キャリアを考える（未来の自分を考える）1　ライフイベント表とキャッシュフロー表を作る

第10回：キャリアを考える（未来の自分を考える）2　働くうえで知っていると得する知識・自分の働く意味を考える

第11回：キャリアを考える（未来の自分を考える）3　「夢の懸け橋」を考える・自分に手紙を書く・「キャリアデザイン」のまとめ

第12回：

【成績算出法】学生要項に従い（１）出席状況（２）授業態度　の2つにより総合評価する

【備考】（１）定期試験はやらないので、出席状況を重視
（２）所定のファイル（自分ファイル）を必ず持参すること
【実務経験のある教員による授業科目の注記】
　専門学校での就職支援業務、また、独立後キャリアコンサルタントとして再就職支援・若者支援・職業訓練等の実績を基に、職業人となる学生への実践的、かつ、きめ細かい授業を展開する

【科目名】現代社会と時事問題

【担当教員】小林　武嗣

【科目コード】20230H0269　　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】教養科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】新聞やニュースで取り上げられる時事問題やキーワードを解説し、社会構造やルールを伝えていきます。

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第2回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第3回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第4回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第5回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第6回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第7回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第8回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第9回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第10回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第11回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

第12回：社会:社会のルール説明　一般：社会基礎知識　時事：その時々の時事の解説

【成績算出法】各授業で小論文を書いてもらいますので、その評価で成績をつけます。

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ビジネスコミュニケーション

【担当教員】土井　里美　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20230H0267　　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】教養科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】1年次必修科目

【授業の目的】ビジネスシーンのコミュニケーションで必要な基礎的スキルと心構えを身に付ける

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：ビジネスで通用する声（１） 人の耳がとらえやすい声を出す。聞き取りやすく話すことはサービスであることを認識する。

第2回：ビジネスで通用する声（２） 人の耳がとらえやすい声を出す。腹式呼吸の声のコツを身につける

第3回：人を惹きつける声 人を惹きつけて好感を抱かれる声を出す。

第4回：ビジネスで通用する発音 誰もが聞き取りやすい発音を手に入れる。決して聞き直されない発音を習得。

第5回：聞き返されない話のスピード 適切な話のペースを覚える。早口対策

第6回：わかりやすい話の構成① ビジネスの場で大切なわかりやすい話の構成を覚える。 実践レポート①

第7回：わかりやすい話の構成② ビジネスの場で大切なわかりやすい話の構成を覚える。

第8回：1-1のコミュニケーション① 傾聴のポイントを知る

第9回：1-1のコミュニケーション② 1-1のコミュニケーションを豊かにするポイントを知る

第10回：もっと話が弾む1-1のコミュニケーション 楽しく会話するために有効なリアクションを身に付ける

第11回：好印象を与えるコツ 声や発音以外の印象アップスキルを習得する

第12回：人に届く声で思いを伝える　実践レポート②とエレベータピッチ

【成績算出法】① 毎回授業のエレベータピッチ（第２回～第 11 回で、8 人/1 回、ひとりあたり 2 回） ② 第6週のレポート（授業を受けて考察したこと、授業内容を日常生活に活かした際のエピソードを書く） ③ 最終日のエレベータピッチ ④ 最終日のレポート（授業を受けて考察したこと、授業内容を日常生活に活かした際のエピソードを書く）

【備考】毎回の授業冒頭に2つのルーティンワーク①発声練習　②エレベーターピッチ　30秒フリートーク（毎回8名

程度 氏名当番制）

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

アナウンサーとして現在も活躍。基礎的な発声方法から、人に伝えることを目的とする実践的な授業を展開する

【科目名】就職指導

【担当教員】久保　亮吾　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20220H0209　【単位数】2単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】教養科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修

【授業の目的】面接スキルを身につけ、就職活動に活かす。

また、ホテルや観光業界に関する広い知識を身につけ、業界の最前線で通用する能力や教養を深める。

【教材】サービス業に就職したい！　改訂版

【教材費（概算）】1430円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：オリエンテーションとコミュニケーションゲーム

メラビアンの法則から人の第一印象形成行程を学ぶ

第2回：面接の根本原理 面接官が面接で聞きたいことの真意について知る

第3回：自己PRの作り方 具体的な内容を整理することで効果的な自己PRを作る

第4回：志望動機の作り方 企業研究と自己研究によって効果的な志望動機を作る

第5回：ＳＰＩ・時事問題対策

第6回：業界知識1 ホテル業界・観光業界の知識をつける

第7回：模擬面接　グループ面接を実施

第8回：模擬面接　グループディスカッションを実施

第9回：業界知識2 ホテル業界・観光業界の知識をつける

第10回：プレゼンテーション演習　情報収集と議論

第11回：プレゼンテーション演習　プレゼン資料作成

第12回：プレゼンテーション演習　パワーポイントを使用した発表

【成績算出法】授業参加態度、最終授業のプレゼン内容と取り組み姿勢

【備考】就職セミナー時に配布した教科書を持参すること。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

ホテルでの勤務経験（料飲部・宿泊部・人事部）、また、2014年、ホテル業界の専門人財会社を設立・人財コンサルタントとして現在も活躍中。幅広い実務経験と最新の就職事情をもとに学生一人一人によりそう授業を展開する。

【科目名】体育

【担当教員】及川　郁也

【科目コード】20230H0007　　【単位数】2単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】教養科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】実習科目

【履修条件】

【授業の目的】①団体性格と通じた他者との関わり合いを大切にし、良き友人を見出し、友情を育む　②集団的スポーツの楽しさや喜びを味わうとともに公正・協力・責任・安全等の望ましい態度を身につける

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：

第2回：

第3回：

第4回：

第5回：

第6回：

第7回：

第8回：

第9回：

第10回：

第11回：

第12回：

【成績算出法】球技大会と野尻湖合宿両方に参加した場合『P』

どちらか不参加の場合『F』

【備考】1年次　野尻湖スポーツ合宿に参加

1年次　球技大会に参加（開会式から閉会式までの参加）

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】就職指導

【担当教員】平島　莉沙子

【科目コード】20230H0209　　【単位数】2単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】教養科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】

【教材】

【教材費（概算）】円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：

第2回：

第3回：

第4回：

第5回：

第6回：

第7回：

第8回：

第9回：

第10回：

第11回：

第12回：

【成績算出法】

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】接遇マナー1

【担当教員】木佐貫　美穂　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20230H0008　　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】1年次必修授業

【授業の目的】ホテル実習に向けて、実習現場で必要な身だしなみ・挨拶・立ち居振舞い・言葉づかいなどの基本的な接遇マナーを習得する

【教材】オリジナルテキスト（「接遇マナー1」）

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：オリエンテーション：自己紹介（講師・学生）、授業関連説明

第2回：Part 1. 接遇サービスの基本：第一印象、身だしなみ、挨拶

第3回：Part 1. 接遇サービスの基本：表情、笑顔、笑顔トレーニング

第4回：Part 1. 接遇サービスの基本：態度、接客時の位置、立ち居振舞い①(実技)

第5回：Part 1. 接遇サービスの基本：立ち居振舞い②(実技)

第6回：Part 1. 接遇サービスの基本：立ち居振舞い③(実技)

第7回：Part 2. 敬語・接遇用語の基本①

第8回：Part 2. 敬語・接遇用語の基本②

第9回：Part 2. 敬語・接遇用語の基本③　確認小テスト

第10回：実技試験

第11回：Part 3. プロトコールの基礎、接遇マナー1総括、実技試験（前回欠席者対象）

第12回：実技試験、小テスト、授業参加態度、出席

【成績算出法】

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

国際線乗務員として約27年間接客業務に従事した経験をもとに授業を展開、マナースキルやコミュニケーション能力を高めるための授業を展開する。

【科目名】宿泊サービス実務

【担当教員】ホテルニューオータニ

【科目コード】20230H0015　　【単位数】2単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ホテル科１年必修授業

【授業の目的】宿泊サービス部門の基礎実務と知識を習得し、ホテル実習へ向けてスキルアップを図る

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：休講

第2回：ホテルニューオータニ概要、コンプライアンス（情報セキュリティ）

第3回：休講

第4回：ホテルニューオータニのおもてなし

第5回：テレフォンオペレーター業務について

第6回：ロビィサービス業務について

第7回：フロント業務について

第8回：客室概要①、②

第9回：客室サービス実務①、②

第10回：客室サービス実務③、④

第11回：客室サービス実務（試験）、ホテル宿泊体験

第12回：コンシェルジュ業務について

【成績算出法】出欠席、最終日ベッドメイクテスト

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】料飲サービス実務

【担当教員】ホテルメトロポリタン　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20230H0014　【単位数】2単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ホテル科1年必修

【授業の目的】ホテルサービス産業に従事する者にとって必要な料飲部門の「基礎と知識」を習得し、「ホテル実習」に向けてスキルアップを図る

【教材】西洋料理料飲接遇サービス技法（3版）

【教材費（概算）】3718円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：休講

第2回：日本ホテル(株)　会社概要と今後の展望を佐藤総支配人よりご講話／シルバー・グラスについて

第3回：休講

第4回：レストラン業務・宴会について/基本動作（お迎えからお見送りまで）

第5回：トレー・サーバー・プラッター・チューリンサービスについて

第6回：衛生管理・食中毒予防について/飲料（カクテル・バーの実技練習）

第7回：テーブルセッティングについて／ボトルサービス・ワインの抜栓について

第8回：ご案内方法～オーダーの取り方　テーブルセッティング～サービスまで

第9回：反復練習（テーブルセッティング～サービスまで）

第10回：反復練習（テーブルセッティング～サービスまで）

第11回：実技テスト／テーブルマナー事前学習

第12回：テーブルマナー実践

【成績算出法】欠席数、授業態度、テスト

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

西洋料理の講義、マナー実習を実施。業務に5年以上従事する方を講師として招聘し、実践的な授業を行う。

【科目名】ホテル旅館概論

【担当教員】岡崎　一朗　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20230H0013　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ホテル科1年生必修授業

【授業の目的】サービスの基本と部門別の業務の基本知識を習得して、ホテルビジネスの基本構造を理解する

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：オリエンテーション

第2回：ホテルとは、旅館とは / ホテルの基本機能、法的な類型、ホテルと旅館の違いって？

第3回：ホテルの宿泊部門の仕事とは / その業務内容及び種類と呼び名、また用語解説

第4回：ホテルの料飲部門の仕事とは / その業務内容及び種類と呼び名、また用語解説

第5回：ホテルの宴会部門の仕事とは（ウエディング含む） / その業務内容及び種類と呼び名、また用語解説

第6回：ホテルのバック部門とは / その業務内容及び種類と呼び名、また用語解説

第7回：近代社会における観光・旅行産業とホテル産業

世界の、日本の観光・旅行産業についてインバウンドとアウトバウンドの観点から説明

第8回：旅館の基礎知識 / DVD鑑賞

第9回：ホテル関連法規と概要 / サービス業において知っておく必要がある関連法規及び苦情処理について

第10回：振り返り / リゾート実習及び秋からのホテル実習に備えての復習及び質疑応答

第11回：最終試験 / 実践実習に備えて専門用語や基本的仕事分担についての筆記試験

第12回：

【成績算出法】最終試験50%　出席率　20%　受講態度（挑む姿勢、見た目、レポート）30%　計100%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

25年間にわたるホテル勤務経験（フロント部門、営業部門、セールス部門、宿泊部門（部長））を基に、ホテル旅館が提供するサービス・部門別業務の基本知識を、6か月のインターンシップを行う学生への実践となる授業として展

開する。

【科目名】ホスピタリティ理解講座

【担当教員】臼杵　サンディ　沙織　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20230H0242　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修授業

【授業の目的】ホスピタリティ産業界活躍する若きリーダーを養成するため「認定アシスタント・ホスピタリティ・コーディネータ」養成講座としての意味合いを持つ。ホスピタリティの基本を理解し、ホテルの現場及び、マネジメントで活用することを目的とする。

【教材】ホスピタリティ・コーディネータ教本　新版

【教材費（概算）】3300円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：オリエンテーション

第2回：日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性

第3回：ホスピタリティの起源、西洋と日本のホスピタリティ

第4回：サービスとホスピタリティの語源、サービス、ホスピタリティ、おもてなしの違い

第5回：個人発表：心に残るgoodサービス

第6回：動画鑑賞：コンシェルジュ町田さん

第7回：動画解説、ホテルの組織とキャリア

第8回：ホテル種別、部門別のホスピタリティ①

第9回：ホテル種別、部門別のホスピタリティ②

第10回：CS（顧客満足）と顧客心理

第11回：IT化とホスピタリティ、授業まとめ

第12回：期末試験（授業時間内に行う）

【成績算出法】出席、毎回のミニレポート、発表、期末試験を総合的に評価する

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ENGLISH FOR HOTEL / RESTAURANT WORK

【担当教員】アイランド　アプレ　派遣

【科目コード】20230H0289　【単位数】2単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】To gain a working knowledge of basic english used in hotel work for their job training courses

【教材】Collins Hotel and Hospitality English

【教材費（概算）】4125円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Introductions, Course Expectations & Syllabus Overview

Unit 1: Welcoming guests

第2回：Unit 4: Looking after guests (1)

第3回：Unit 5: Looking after guests (2)

第4回：Unit 11: At breakfast

第5回：Unit 14: In the restaurant (1) / Mid-Term review

第6回：Mid-term exam (Units: 1, 4, 5, 11, 14)

Unit 15: In the restaurant (2)

第7回：Unit 16: In the restaurant (3)

第8回：Unit 18: Housekeeping problems

第9回：Unit 19: Room service

Grammar Reference and Useful Phrases (time permitting)

第10回：Review / Practice for Final Exam

Units 1, 4, 5, 11, 14, 15, 16, 18, 19

第11回：Final Exam

第12回：

【成績算出法】Homework, Attendance & Participation: 70%

Oral Mid-term Exam: 10%

Comprehensive Oral Final Exam 20%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】GENERAL ENGLISH A

【担当教員】アイランド　アプレ　派遣

【科目コード】20230H0284　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】To build a strong foundation in English Grammar

【教材】Basic Grammar in Use Student's Book with Answers

【教材費（概算）】3509円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Introductions, Course Expectations & Syllabus Overview

Unit 1: am/is/are

Unit 5: I do/work/like, etc. (simple present)

第2回：Unit 7: Do you...?

Unit 10: was/were

第3回：Unit 11: worked / got / went, etc. (simple past)

Unit 12: I didn't... Did you...? (simple past negative and questions)

第4回：Unit 25: I'm going to...

Unit 26: will

第5回：Mid-Term Exam - Units 1, 5, 7, 10, 11, 12, 25, 26

Unit 28: Can and Could

第6回：Unit 32: Would you like...? I'd like...?

Unit 45: What...? Which...? How...? (questions)

第7回：Unit 46: How long does it take...?

第8回：Unit 47: Do you know where...? I don't know what..., etc.

第9回：Unit 107: next to, between, under, etc.

第10回：Review for Final Exam / Homework: Study! Study! Study for the Final Exam!

第11回：Final Exam - Units 1, 5, 7, 10, 11, 12, 25, 26, 28, 32, 45, 46, 47, 107

第12回：

【成績算出法】Homework, Attendance & Participation: 60%

Written Mid-term Exam: 10%

Written Final Exam: 30%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ホテル業界入門講座

【担当教員】近藤　寛和　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20230H0268　　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ホテル科一年必修科目

【授業の目的】働くことの意味、ホテルの存在意義と役割、業界概要、ホテルの種類、業界構造などを理解します

【教材】惚れるホテルを創る　愛されるホテリエたち

【教材費（概算）】1650円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：オリエンテーション

第2回：仕事とビジネスの意義を考える

第3回：ホテルの存在意義を考える

第4回：ホテルを数字で理解する

第5回：宿泊部門の仕事とは

第6回：宿泊部門のゲストスピーカー

第7回：料飲部門の仕事とは

第8回：料飲部門のゲストスピーカー

第9回：宴会部門の仕事とは

第10回：バック部門の仕事

第11回：業界の構造

第12回：最終試験

【成績算出法】レポート（30%）、積極的な授業参加（30%）、最終テスト（40%）

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

　ホテル業界誌編集部を経て2010年にホスピタリティ業界に特化したビジネススクールを設立、ホテル業界に精通。最新事情を取り入れた授業を展開する。

【科目名】ホテル事情

【担当教員】近藤　寛和　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20220H0270　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修科目

【授業の目的】観光・宿泊業界の最新ニュースやトレンドを理解します

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：オリエンテーション

第2回：理解度テスト

第3回：業界ニュースシェア＆要約ワーク

第4回：時事問題をテーマにディスカッション

第5回：業界ニュースシェア＆要約ワーク

第6回：時事問題をテーマにディスカッション

第7回：業界ニュースシェア＆要約ワーク

第8回：時事問題をテーマにディスカッション

第9回：5年後の業界予測と自分の在り方

第10回：業界ニュースシェア＆要約ワーク

第11回：5年後の業界予測と自分の在り方　発表会

第12回：最終レポート

【成績算出法】レポート（30%）、積極的な授業参加（30%）、最終テスト（40%）

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

ホテル業界誌編集部を経て2010年にホスピタリティ業界に特化したビジネススクールを設立、ホテル業界に精通。最新事情を取り入れた授業を展開する。

【科目名】接遇マナー2

【担当教員】木佐貫　美穂　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20220H0009　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修授業

【授業の目的】接遇マナーⅠ並びにホテル実習の経験を踏まえ、ホスピタリティ業界で働くための接遇の知識とスキルを習得する

【教材】ゼロから教えて 接客・接遇

【教材費（概算）】1404円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：オリエンテーション

第2回：接客･接遇の基本/敬語・言葉づかいの基本①

第3回：敬語・言葉づかいの基本②

第4回：敬語・言葉づかいの基本③

第5回：電話応対の基本①

第6回：手紙の書き方実践講座（ゲスト講師）

第7回：電話応対の基本②

第8回：クレーム対応の基本

第9回：FAX・ビジネスメールの基本マナー　社会人1年生としての心がまえ

第10回：期末試験

第11回：試験用紙返却と解説、まとめ

第12回：

【成績算出法】学期末試験、授業参加態度、出席

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

国際線乗務員として約27年間接客業務に従事した経験をもとに授業を展開、マナースキルやコミュニケーション能力を高めるための授業を展開する。

【科目名】簿記

【担当教員】根岸　亮平

【科目コード】20220H0022　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修

【授業の目的】簿記を知り、会計に触れる

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：簿記とは（簿記一巡の流れを把握する）

第2回：仕訳と転記（１）（仕訳の基本を学ぶ）

第3回：仕訳と転記（２）（転記の基本を学ぶ）

第4回：仕訳と転記（３）（小切手を用いた取引、商品売買）

第5回：仕訳と転記（４）（掛け取引、その他の取引）

第6回：中間テスト

第7回：会計とは（試算表・精算表・財務諸表を理解する）

第8回：試算表の作成

第9回：精算表の作成

第10回：財務諸表の作成（１）

第11回：財務諸表の作成（２）

第12回：期末テスト

【成績算出法】出席・テスト

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】危機管理論

【担当教員】茂木　義之　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20220H0273　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修授業

【授業の目的】ホテル運営上の危機への発生のメカニズムと対応を学ぶ

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：危機管理（１）レストランサービス

第2回：危機管理（２）宿泊予約

第3回：危機管理（３）酔客対応

第4回：危機管理（４）婚礼披露宴　食中毒の申し出

第5回：危機管理（５）食中毒対応

第6回：危機管理（６）火災対応

第7回：危機管理（７）振り返り

第8回：危機管理（７）振り返り

第9回：危機管理（８）防災（地震等）

第10回：危機管理（８）防災（外国人客への対応）

第11回：期末試験

第12回：

【成績算出法】試験の結果及び受講態度（理解度・積極性等）。出席回数を総合的に勘案する

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

46年間にわたるホテル料飲部門、また複数のホテルにおいて総支配人を歴任した勤務経験を基に、主として料飲部門における基礎力を高めるため授業、また総支配人を目指すために必要となる実践的な授業を展開する

【科目名】HOTEL ENGLISH

【担当教員】アイランド　アプレ　派遣

【科目コード】20220H0011　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】To build on the concepts learned in the first year of the hotel course

【教材】Collins Hotel and Hospitality English

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Introductions, Course Expectations & Syllabus Overview

Unit 2: Welcoming a Guests with No Reservation

第2回：Unit 3: 'Difficult guests'

第3回：Unit 8: Phone calls to Reception

第4回：Unit 9: Communication Problems

第5回：Mid-Term Exam Review

第6回：Mid-Term Exam

Units 2, 3, 8 & 9

第7回：Unit 10 Guest Problems

第8回：Unit 23: Checking out

第9回：Final Exam Review(Session 1) :

Grammar Reference and Useful Phrases (back of textbook) and other materials

---

第10回：Final Exam Review(Session 2) :

Grammar Reference and Useful Phrases (back of textbook) and other materials

---

第11回：Final Exam

第12回：

【成績算出法】Homework, Attendance & Participation: 70%

Oral Mid-Term Exam: 10%

Comprehensive Oral Final Exam: 20%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ホテルマーケティング

【担当教員】岡崎　一朗　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20220H0019　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修授業

【授業の目的】ホテルマーケティング全体感を理解する。グループワークから、新ブランドホテルを提案する。

【教材】

【教材費（概算）】円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：全体概要　マーケティングとは

第2回：ホテルマーケット全体　世界のホテルについて

第3回：ブランディングについて

第4回：レベニューについて

第5回：ディストリビューション　ダイレクトブッキングについて

第6回：マーケティング全体について

第7回：中間発表

第8回：メディアについて

第9回：セールスについて

第10回：広報活動について

第11回：最終発表

第12回：

【成績算出法】グループワーク提出物を完了させる（中間発表1回　最終発表1回）

【備考】講義３０分、グループワーク６０分

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

25年間にわたるホテル勤務経験（フロント部門、営業部門、セールス部門、宿泊部門（部長））を基に、ホテル旅館が提供するサービス・部門別業務の基本知識を、6か月のインターンシップを行う学生への実践となる授業として展開する。

【科目名】栄養学

【担当教員】阿部　美佳

【科目コード】20220H0020　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修授業

【授業の目的】栄養とは何か、その意義について理解するとともに、将来役立てるように実践法を学ぶ

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：オリエンテーション

第2回：栄養の概念

第3回：食物の摂取／消化・吸収のしくみ

第4回：栄養素①

第5回：栄養素②

第6回：エネルギー代謝と食事摂取基準

第7回：食品成分表示

第8回：フードロスと食糧問題

第9回：日本と世界の食文化　日本と世界の食文化日本と世界の食文化

第10回：まとめ

第11回：テスト

第12回：

【成績算出法】試験80%　出席（授業態度）20%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】BUSINESS ENGLISH 1 A

【担当教員】アイランド　アプレ　　派遣

【科目コード】20220H0280　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】Students in Level 1

【授業の目的】Elementary-level business conversation, students will learn to communicate using American and International English for a range of business situations.

【教材】Business Venture Beginner Student's Book Pack (Student's Book + CD)

【教材費（概算）】3420円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Student introductions and interviews, syllabus overview, Unit 1 Checking-In: (Module 1.1~1.3)

第2回：Unit 1 Checking-In: (Module 1.4~1.6)

第3回：Unit 2 At a trade fair: (Module 2.1~2.5)

第4回：Unit 2 At a trade fair: (Module 2.6~2.9)

第5回：Unit 3 Schedules: (Module 3.1~3.4)

第6回：Unit 3 Schedules: (Module 3.5~3.8)

第7回：Unit 4 Companies: (Module 4.1~4.5)

第8回：Unit 4 Companies: (Module 4.6~4.10)

第9回：Unit 5 Meeting People: (Module 5.1~5.3)

第10回：Unit 5 Meeting People: (Module 5.4~5.7)

第11回：Review

第12回：Final Exam

【成績算出法】70% of the grade is Homework, participation/attendance, attitude/effort and 30% final exam

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】BUSINESS ENGLISH 2 A

【担当教員】アイランド　アプレ　　派遣

【科目コード】20220H0281　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】Students in Level 2

【授業の目的】Elementary-level business conversation, students will learn to communicate using American and International English for a range of business situations.

【教材】Business Venture 1 Elementary Student's Book Pack (Student's Book + CD)

【教材費（概算）】3421円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Student introductions and interviews, syllabus overview, Unit 1 First Meetings: (Module 1.1~1.3)

第2回：Unit 1 First Meetings: (Module 1.4~1.6)

第3回：Unit 2 You and your company : (Module 2.1~2.3)

第4回：Unit 2 You and your company: (Module 2.4~2.6)

第5回：Unit 3 Visiting a client: (Module 3.1~3.3)

第6回：Unit 3 Visiting a client: (Module 3.4~3.6)

第7回：Unit 4 Business Activities: (Module 4.1~4.3)

第8回：Unit 4 Business Activities: (Module 4.4~4.6)

第9回：Unit 5 Fixing an appointment: (Module 5.1~5.3)

第10回：Unit 5 Fixing an appointment: (Module 5.4~5.6) and Review

---

第11回：Review

第12回：Final Exam

【成績算出法】70% of the grade is Homework, participation/attendance, attitude/effort and 30% final exam

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】BUSINESS ENGLISH 3 A

【担当教員】アイランド　アプレ　　派遣

【科目コード】20220H0282　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】Students in Level 3

【授業の目的】Pre-Intermediate level business conversation, students will learn to communicate using American and International English for a range of business situations.

【教材】Business Venture 2 Pre-Intermediate Student's Book Pack (Student's Book + CD)

【教材費（概算）】3421円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Student introductions and interviews, syllabus overview, Unit 1: Meeting people (Module 1.1~1.3)

第2回：Unit 1: Meeting people (Module 1.4~1.6)

第3回：Unit 2: Telephoning (Module 2.1~2.3)

第4回：Unit 2: Telephoning (Module 2.4~2.6)

第5回：Unit 3: Schedules and appointments (Module 3.1~3.3)

第6回：Unit 3: Schedules and appointments (Module 3.4~3.6)

第7回：Unit 4: Company Performance (Module 4.1~4.3)

第8回：Unit 4: Company Performance (Module 4.4~4.5)

第9回：Unit 5: Products and Services (Module 5.1~5.3)

第10回：Unit 5: Products and Services (Module 5.4~5.6) and review

---

第11回：Review

第12回：Final Exam

【成績算出法】70% of the grade is Homework, participation/attendance, attitude/effort and 30% final exam

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】BUSINESS ENGLISH 4 A

【担当教員】アイランド　アプレ　　派遣

【科目コード】20220H0283　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】Students in Level 4

【授業の目的】Elementary-level business conversation, students will learn to communicate using American and International English for a range of business situations.

【教材】Market Leader 3rd Edition Extra Coursebook with DVD-ROM (Elementary (3rd Edition) Extra Edition)

【教材費（概算）】4037円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Student introductions and syllabus overview, Start Unit 1 Introductions

---

第2回：Finish Unit 1 (if necessary) and start Unit 2 Work and Leisure; Handout: Giving an oral Presentation

---

第3回：Finish Unit 2 and Unit 3 Problems (Language work and skills: Telephoning)

第4回：Finish Unit 3 (if necessary) and Student oral presentation on a topic (2 minutes)

第5回：Reviews for Mid-Term Exam (written or oral TBC)

第6回：Mid-Term Exam

第7回：Working Across Cultures 1: Eating Out

第8回：Start Unit 4: Travel

第9回：Finish Unit 4: Travel and Start Unit 5: Food and Entertaining

---

第10回：Finish Unit 5: Food and Entertaining and start Working Across Cultures 2: Communication Styles

---

第11回：Finish Working Across Cultures 2: Communication Styles and Practice for Oral final exam

---

第12回：Oral final exam

【成績算出法】60% of the grade is Homework, participation/attendance, attitude/effort

10% Mid-term

30% final exam

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】オリエンタルフードサービス

【担当教員】大嶋　信幸　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20220H0025　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修授業

【授業の目的】「日本料理」と「中国料理」の基本知識を身につけます。レストランでのテーブルマナー演習を通じて、それぞれのサービス技術を身につけます。

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：日本料理　1

第2回：日本料理　2

第3回：日本料理　3

第4回：日本料理　4

第5回：日本料理　テーブルマナー演習　1

第6回：日本料理　テーブルマナー演習　2

第7回：中国料理　1

第8回：中国料理　2

第9回：中国料理　3

第10回：中国料理　4

第11回：中国料理　テーブルマナー演習　1

第12回：中国料理　テーブルマナー演習　2

【成績算出法】（１）授業出席 8pt×8回＝64点　（２）テーブルマナー出席 18pt×2回（和食・中華）＝36点（１）・（２）合計100点で算出し、授業態度を加味。筆記テスト・レポートは実施しません。

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

日本料理の講義、マナー実習を実施。業務に20年以上従事。経験をもとに実践的な授業を行う。

【科目名】食品衛生

【担当教員】ポントコミュニケーションズ　派遣

【科目コード】20220H0021　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修

【授業の目的】食品中には、食中毒菌などの危害物質が含まれることがあり、正しい食品衛生の知識がないと甚大な被害をもたらすことがある。そのことを理解するとともに、リスク回避方法を学ぶ。

尚、本科目は複数のゲスト講師を招いての輪講形式とする。

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：オリエンテーション

第2回：食品衛生の定義

第3回：食品と微生物

第4回：食品の変質

第5回：食中毒とは

第6回：細菌性食中毒１

第7回：細菌性食中毒２

第8回：ウイルス性食中毒

第9回：自然毒食中毒

第10回：化学性食中毒

第11回：経口的寄生虫疾患

第12回：まとめ、テスト

【成績算出法】出席率60%、定期試験20%、小テスト20%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】料飲･宴会マネジメント論

【担当教員】茂木　義之　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20220H0246　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】必修授業

【授業の目的】ホテルにおける料飲・宴会業務の基礎知識の修得。

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：料飲部門（レストラン）の組織と役割

第2回：料飲部門（レストラン）の種類と位置づけ

第3回：料飲業務　予約　準備　サービス

第4回：料飲部門の課題と改善案

第5回：宴会部門の種類と役割

第6回：宴会の種類　一般宴会　婚礼

第7回：宴会業務　予約　準備　サービス

第8回：宴会部門の課題と改善案

第9回：調理部門の組織と役割

第10回：総括

第11回：期末試験

第12回：

【成績算出法】筆記試験

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

46年間にわたるホテル料飲部門、また複数のホテルにおいて総支配人を歴任した勤務経験を基に、主として料飲部門における基礎力を高めるため授業、また総支配人を目指すために必要となる実践的な授業を展開する

【科目名】宿泊マネジメント論

【担当教員】長橋　士席

【科目コード】20220H0228　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ホテル科2年次必修科目

【授業の目的】ホテルの宿泊部門を中心にマネジメントの実務と理論、考え方を学び、将来のキャリアへと繋げていく。

【教材】指定なし (適宜、レジュメ・資料を配布)

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：授業ガイダンス/ 講師経歴紹介(ホテルや関連業界でのキャリア)

第2回：宿泊産業の現況 /宿泊産業の特性/宿泊部門の組織と職種・実務

第3回：<休校日>

第4回：宿泊部門のマネジメント1　レベニュー・マネジメント1 計数管理

第5回：宿泊部門のマネジメント2　レベニュー・マネジメント2 計数管理

第6回：宿泊予約実務とマネジメント1　販売チャネル・販売コントロール / PMS

第7回：宿泊予約実務とマネジメント2　パッケージ・ブレイクダウン

第8回：フロント実務とマネジメント　情報の集約・発信

第9回：客室管理実務とマネジメント1　客室清掃の管理

第10回：客室管理実務とマネジメント2　原価管理

第11回：宿泊産業のリスクマネジメント / クレーム・コンブレイン対応

第12回：マネジメント概論・リーダーシップ・モチベーション / 授業まとめ

【成績算出法】出席率40%(受講態度・授業への参加度評価を含む)、授業課題20%、期末試験(課題レポート)40%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】サービス介助論

【担当教員】上村　久子

【科目コード】20220H0253　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】専門科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ホテル科2年次　必修

【授業の目的】ホテル、旅館などの宿泊施設、レストランなどの飲食サービス、ブライダルや商品販売施設等に従事するサービスパーソンが多種多様な個性を持つ利用者との円滑なコミュニケーションを図り、安全なサービス提供につながるポイントを学んでいきます。

【教材】接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト　改訂２版

【教材費（概算）】1760円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：ユニバーサルサービスとは①

第2回：ユニバーサルサービスとは②

第3回：視覚障害のお客様に適切なサービスをするために

第4回：聴覚障害のお客様に適切なサービスをするために

第5回：身体が不自由なお客様に適切なサービスをするために

第6回：高齢者・認知症のお客様に適切なサービスをするために（実習あり）

第7回：休講（課題実施）

第8回：知的障害、言語障害、その他不自由を感じているのお客様に適切なサービスをするために

第9回：発達障害、LGBT、マイノリティといわれる人への理解と社会参加の支援

第10回：まとめ①

第11回：まとめ②

第12回：色々な背景を持つ人々を支援するサービスパーソンとなるために（試験）

【成績算出法】成績を評価するための項目は以下の3点、それぞれの点数の合計が75点以上を合格とします。尚、当授業においてはスマートフォンを使用することもあります。可能な限りご協力をお願い致します。

・出席率：60点 / ・授業参加における態度・積極性：20点 / ・試験結果：20点

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】企業実習事前授業

【担当教員】及川　郁也

【科目コード】20230H0315　　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】実習科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】実習科目

【履修条件】必修

【授業の目的】①インターンシップにおける目的の確認　②社会人基礎力（主体性･継続力･コミュニケーション能力）の重要性理解　③学生が考えるホテル業務のイメージと仕事を体験して感じる現実とのミスマッチを減らす

【教材】サービス業に就職したい！　改訂版

【教材費（概算）】1430円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：インターンシップについての説明

第2回：2年生との経験談

第3回：実習中のアドバイス

第4回：PLACEMENT TEST

第5回：実習ノート説明

第6回：

第7回：

第8回：

第9回：

第10回：

第11回：

第12回：

【成績算出法】全日程出席で単位を認定し『P』とする。1回でも欠席した場合は『F』

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】企業実習登校日授業

【担当教員】平島　莉沙子

【科目コード】20230H0316　　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】実習科目　　【選択必修区分】必修科目　【講義実習区分】実習科目

【履修条件】

【授業の目的】

【教材】

【教材費（概算）】円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：

第2回：

第3回：

第4回：

第5回：

第6回：

第7回：

第8回：

第9回：

第10回：

第11回：

第12回：

【成績算出法】

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ホテルビジネス実務検定試験対策講座

【担当教員】長橋　士席

【科目コード】20220H0266　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ホテルビジネス実務検定受験予定者

【授業の目的】H検B2級合格へのポイント講義。ホテルの基礎知識習得と体系的な理解を目指します。

【教材】ホテルビジネス 基礎編

【教材費（概算）】5500円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：第1章 ホテルの基礎 その1 観光産業の動向・宿泊産業の歴史1

第2回：第1章 ホテルの基礎 その2 宿泊産業の歴史2 ・ホテルの分類

第3回：第1章 ホテルの基礎 その3 プロトコール・関連法規など

第4回：第2章 宿泊部門 その1 概要と実務

第5回：第2章 宿泊部門 その2 実務内容

第6回：第3章 料飲部門 その1 概要と実務

第7回：第3章 料飲部門 その2 実務内容

第8回：第4章 宴会部門 その1 概要と実務

第9回：第4章 宴会部門 その2 実務内容

第10回：第5章 調理部門 その1 概要と実務

第11回：第5章 調理部門 その2 実務内容 / 最終試練対策ポイント

第12回：答え合わせ(回答速報・自己採点) / 科目まとめ

【成績算出法】出席率20% 授業テスト20% H検取得点数60%

【備考】Day11は11/21(火)に振替 / (11/22(水)学内団体受験)

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】TOEIC BASICS A

【担当教員】アイランド　アプレ　　派遣

【科目コード】20220H0290　　【単位数】2単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】L2, L3, L4

【授業の目的】Students will learn the basic study skills and strategies to improve their scores on the TOEIC test.

【教材】Tactics for the TOEIC Test Listening & Reading Test Introductory Course Pack/ TOEIC Online Testing app.

【教材費（概算）】6050円

【受講目安人数】特になし

【授業内容】

第1回：Introductions, Course Expectations & Syllabus Overview

Unit 1: Part 1 - Photographs

Unit 5: Part 5 - Incomplete Sentences

第2回：Cont. Unit 1: Part 1 - Photographs

Cont. Unit 5: Part 5 - Incomplete Sentences

第3回：Unit 2 - Part 2: Question - Response

Unit 6 - Part 6: Text Completion

第4回：Cont. Unit 2 - Part 2: Question - Response

Cont. Unit 6 - Part 6: Text Completion

第5回：Unit 3 - Part 3: Conversations

Unit 7 - Part 7: Reading Comprehension

第6回：Cont. Unit 3 - Part 3: Conversations

Cont. Unit 7 - Part 7: Reading Comprehension

第7回：Unit 4 - Part 4: Talks

Reading Review

第8回：Cont. Unit 4 - Part 4: Talks

Listening Review

第9回：Review Test 1 - Listening

Review Test 1 - Reading

第10回：Practice Test A - Listening

Practice Test A - Reading

第11回：Review Practice Test A - Listening

Review Practice Test A - Reading

第12回：

【成績算出法】Attendance & Class Participation: 70%

Homework Assignments & Test Results: 30%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】TOEIC BASICS B

【担当教員】アイランド　アプレ　　派遣

【科目コード】20220H0291　　【単位数】2単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】Taken TOEIC BASICS A

【授業の目的】Students will learn the basic study skills and strategies to raise their scores in the TOEIC Test

【教材】Tactics for the TOEIC Test Listening & Reading Test Introductory Course Pack/ TOEIC Online Testing app.

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Student introductions and Interviews, Syllabus overview

L - Unit 8: Part 1 – Photographs

R - Unit 12: Part 5 - Incomplete Sentences

第2回：Complete Unit 8: Part 1 – Photographs

Complete Unit 12: Part 5 - Incomplete Sentences

第3回：L: Unit 9 - Part 2: Question – Response

R: Unit 13 - Part 6: Text Completion

第4回：Complete Unit 9 - Part 2: Question – Response

Complete Unit 13 - Part 6: Text Completion

第5回：L: Unit 10 - Part 3: Conversations

R: Unit 14 - Part 7: Reading Comprehension

第6回：Complete Unit 10 - Part 3: Conversations

Complete Unit 14 - Part 7: Reading Comprehension

第7回：L: Unit 11 - Part 4: Talks

R: Reading Review

第8回：L: Cont. Unit 11 - Part 4: Talks

R: Listening Review

第9回：L: Review Test 2 - Listening

R: Review Test 2 - Reading

第10回：L: Practice Test B - Listening

R: Practice Test B - Reading

第11回：Review Practice Test B - Listening

Review Practice Test B - Reading

第12回：Review Test 1 Listening

Review Test 1 Reading

【成績算出法】70% Class Participation　/　30% Homework

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】HOTEL CONVERSATION : ROOMS

【担当教員】アイランド　アプレ　　派遣

【科目コード】20220H0278　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】L2, L3, L4

【授業の目的】To familiarize students with the language used in the Rooms division

【教材】Collins Hotel and Hospitality English

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】特になし

【授業内容】

第1回：Introductions, Course Expectations & Syllabus Overview

Unit 1: Welcoming guests (Review)

第2回：Unit 4: Looking after guests (1) (Review)

第3回：Unit 5: Looking after guests (2) (Review)

第4回：Unit 6: Reservation inquiries

第5回：Unit 7: Reservation changes

第6回：Unit 17: Housekeeping

第7回：Unit 20: Guest Services

第8回：Unit 21: In the Business Centre

第9回：Unit 24: Problems Checking Out

第10回：Review for Final Exam

Units 1, 4, 5, 6, 7, 17, 20, 21, 24

第11回：Final Exam

第12回：

【成績算出法】Homework, Attendance & Participation: 70%

Oral Final Exam: 30%

【備考】1年次 English for Hotel Restaurant Work で使用した教科書を使用します。持っていないものは教務課で別途購入すること。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】HOTEL CONVERSATION : F&B

【担当教員】アイランド　アプレ　　派遣

【科目コード】20220H0279　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】L2, L3, L4

【授業の目的】To familiarize students with the language used in the Food and Beverage sections of hotels

【教材】Collins Hotel and Hospitality English

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】特になし

【授業内容】

第1回：Student Introductions, Class Expecations & Syllabus Overview

Unit 11: At breakfast (Review)

第2回：Unit 11: At breakfast

Unit 12: At the Bar

第3回：Unit 12: At the Bar

Unit 13: Complaints from Guests at the Bar

第4回：Unit 13: Complaints from Guests at the Bar

Unit 14: In the Restaurant (1) (Review)

第5回：Unit 14: In the Restaurant (1) (Review)

Unit 15: In the Restaurant (2) (Review)

第6回：Unit 15: In the Restaurant (2) (Review)

Unit 16: In the Restaurant (3) (Review)

第7回：Unit 16: In the Restaurant (3) (Review)

Unit 19 Room Service (Review)

第8回：Unit 19: Room Service (Review)

第9回：Unit 22: Recommendations for Places to Eat

第10回：Review for Final Exam

Units 11, 12, 13, 14, 15, 16, 19, 22

第11回：Final Exam

第12回：

【成績算出法】Homework, Attendance, & Participation: 70%

Oral Final Exam: 30%

【備考】1年次English for Hotel Restaurant Work で使用した教科書を使用します。持っていないものは教務課で別途購入すること。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】GENERAL ENGLISH B

【担当教員】アイランド　アプレ　派遣

【科目コード】20220H0286　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】L1, L2

【授業の目的】Developing real world English and confident communication skills (Units 1-5)

【教材】World English 1, Student Book with Online Workbook Access Code

【教材費（概算）】3300円

【受講目安人数】特になし

【授業内容】

第1回：Introductions, Syllabus overview, Unit 1: People

第2回：Cont. Unit 1: People

第3回：Unit 2: Work, Rest and Play

第4回：Cont. Unit 2: Work, Rest and Play

第5回：Unit 3: Going Places

Review for Mid-Term Exam (Units 1, 2, and half of Unit 3)

第6回：Mid-Term Exam / Cont. Unit 3: Going Places

第7回：Unit 4: Food

第8回：Cont. Unit 4: Food

第9回：Unit 5: Sports

第10回：Cont. Unit 5: Sports + Review for Final Exam Units 1 ~5

第11回：Final Exam

第12回：

【成績算出法】Homework, Attendance & Participation: 70%

Mid-term Exam: 10%

Final Exam: 20%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】GENERAL ENGLISH C

【担当教員】アイランド　アプレ　　派遣

【科目コード】20220H0287　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】L1,L2

【授業の目的】to activate English in a meaningful and communicative way

【教材】World English 1 Student Book with Online Workbook Access Code

【教材費（概算）】3300円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Introductions, Syllabus overview, Unit 6 Destinations, lesson A and B
Unit 6 Lesson C for homework

第2回：Unit 6 Destinations: Lesson C
Unit 7 Communication: Lesson A and B

第3回：Unit 7 Communication: Lesson A, B
Unit 7 : Lesson C

第4回：Unit 7 : Lesson C
Unit 8 Moving Forward: Lesson A and B for Homework

第5回：Unit 8 Moving Forward: Lesson A and B
Unit 8 Moving Forward: Lesson C and study for Mid-Term exam
(Unit 6: Lesson A, B, C and Unit 7: Lesson A, B, C and Unit 8: Lesson A and B)

第6回：Mid-Term Exam, Unit 8 Moving Forward: Lesson C
Unit 9 Types of Clothing: Lesson A and B for homework

第7回：Unit 9 Types of Clothing: Lesson A and B
Unit 9 Types of Clothing: Lesson C for homework

第8回：Unit 9 Types of Clothing : Lesson C
Unit 10 Lifestyles: Lesson A and B for homework

第9回：Unit 10 Lifestyles: Lesson A and B
Unit 10 Lifestyles: Lesson C for homework

第10回：Unit 10 Lifestyles: Lesson C

第11回：Review for Final Exam Units 6-10

第12回：Final Exam

【成績算出法】Participation/Attendance: 70%

Mid-term Exam 10%　Final Exam　20%

【備考】GENERAL ENGLISH B　を履修した学生はテキストは購入不要

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ENGLISH STRUCTURE 1

【担当教員】永倉　佳世子

【科目コード】20220H0313　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】L1,L2

【授業の目的】英文法の基礎固め: 現在形, 過去形, 未来形, 進行形, 代名詞

【教材】Basic Grammar in Use (Raymond Murphy) Cambridge, 4'th ed.

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：Unit 1 (現在形) Be動詞: 肯定文と否定文

第2回：Unit 2 (現在形) Be動詞: 疑問文と疑問詞

第3回：Unit 3+4 (現在進行形) 肯定文, 否定文, 疑問文

第4回：Unit 5 (現在形) 一般動詞: 肯定文

第5回：Unit 6+7 (現在形) 一般動詞: 否定文と疑問文

第6回：Unit 10+13 (過去形,過去進行形) Be動詞: 肯定文と否定文

第7回：Unit 11 (過去形) 一般動詞: 肯定文, 動詞活用(p.230)

第8回：Unit 12 (過去形) 一般動詞: 否定文と疑問文

第9回：Unit 60+72 (代名詞、指示代名詞)

第10回：Unit 25+26 (未来形) be going to, will

第11回：期末テスト

第12回：----------

【成績算出法】Quiz(40%), Final Exam (50%), Participation(10%)

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ENGLISH STRUCTURE2

【担当教員】永倉　佳世子

【科目コード】20220H0248　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】Unit35 (there is / are)

【授業の目的】英文法の基礎固め (Structure 1 の続き)

【教材】Basic Grammar in Use (Raymond Murphy) Cambridge, 4th ed.

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回： 復習 (Structure 1) + Unit35 (there is /are)

第2回： Unit16 (現在完了形: 経験)

第3回： Unit17 (現在完了形: 継続)

第4回： Unit19 (現在完了形: 完了)

第5回： Unit20 (受動態)

第6回： Unit27,28,30 (助動詞: might, can&could, should)

第7回： Unit29,31,32 (助動詞: must, have to, would you like?)

第8回： Unit45 (疑問詞)

第9回： Unit50 (不定詞 と 動名詞)

第10回： Unit86,89 (比較級,最上級)

第11回： 期末テスト

第12回：

【成績算出法】Quiz(40%), Final Exam.(50%), Participation(10%)

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ENGLISH STRUCTURE3

【担当教員】神澤　和美

【科目コード】20220H0249　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ENGLISH STRUCTURE 2　修了者

【授業の目的】英文法の基礎固め

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】円

【受講目安人数】10名まで

【授業内容】

第1回：Structure 2の復習

第2回：完了形の使い方

第3回：　完了形の文の会話表現

第4回：　現在・過去・未来・完了形を使って会話表現

第5回：Quiz #1 （ここまでの内容をチェック）

第6回：不定詞・動名詞の使い方

第7回：　不定詞・動名詞を使って会話表現

第8回：Quiz #2（ここまでの内容をチェック）

第9回：関係代名詞の使い方

第10回：　関係代名詞・関係副詞を使った会話表現

第11回：期末試験

第12回：

【成績算出法】Quiz ２回（各40点の平均点）と期末試験（60点）の合計点

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】TED MASTERCLASS

【担当教員】アイランド　アプレ　　派遣

【科目コード】20220H0344　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】L2, L3, L4

【授業の目的】Improve students public speaking and presentation skills in English and prepare a TED-style talk.

【教材】TED Masterclass Online Application & Apprez Original Materials

【教材費（概算）】550円

【受講目安人数】特になし

【授業内容】

第1回：Ideas worth spreading: identify quality presentations

第2回：Brainstorming: identify and share students ideas worth spreading

---

第3回：Throughlines: understanding throughlines and narrowing of ideas

---

第4回：Pros and Cons of scripted vs. improvised talks.

Presentation ① (1 min.)

第5回：Body language: the importance of voice and body language

第6回：Connection: 5 secrets to connecting with an audience

第7回：Storytelling: when to use and not to use storytelling to enhance talks

---

第8回：Clarity: explaining difficult concepts and complex ideas clearly.

Presentation ② (2 min)

第9回：Persuasion: persuading people to consider your point of view

---

第10回：Timing: determining what should be revealed and when

第11回：Visuals: how they can add or detract from a talk

第12回：Final Presentation (3-5 min.)

【成績算出法】Homework, Attendance & Participation: 60%

Presentation ①: 10%　/ Presentation ②: 10% / Final Presentation: 20%

【備考】教材費：未定　　スマホアプリを利用するため金額が未定です（円安の影響）

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】フランス語

【担当教員】八木　淳

【科目コード】20220H0037　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】履修条件はなし。入門レベルから始める。

【授業の目的】日常生活や旅行で用いる初級会話の習得。

【教材】なし（プリントを配布する）

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：ガイダンス。アルファベットの読み方と簡単なあいさつを習得する。

第2回：自己紹介の仕方、お礼の言い方、謝罪の仕方などよく使われる会話表現を習得する。

第3回：カフェで用いる会話を練習する。あわせて不定冠詞（英語のa）を説明する。

第4回：道順のたずね方を習得する。あわせて定冠詞（英語のthe）を説明する。

第5回：ホテルで用いる単語、表現を覚える

第6回：ホテルで用いる会話を練習する。

第7回：フランス語の映画（『美女と野獣』（アニメではない）を見ながら、発音を確認する。

第8回：国籍、職業の言い方を勉強する。あわせて英語のbe動詞に当たる言葉を覚える。

第9回：メニューの読み方などレストランで用いる単語、表現を覚える。

第10回：レストランで用いる会話の練習をする。

第11回：ブティック、デパートなどでの買い物の仕方を練習する。また、指示形容詞を習う。

第12回：授業の復習をし、発音の確認を行う。

【成績算出法】平常点（出席を含む）80%と期末に行う発音の確認20%で評価する。

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】韓国語1

【担当教員】石田　美智代

【科目コード】20220H0067　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】初めて韓国語を学ぶ学生を対象とする。

【授業の目的】韓国語が読めるようになる。簡単なあいさつフレーズが使えるようになる。

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：韓国語の文字のしくみ

第2回：韓国語の読み方１

第3回：韓国語の読み方２

第4回：韓国語の読み方３

第5回：発音のルール１・簡単な会話

第6回：発音のルール２・簡単な会話

第7回：発音のルール３・簡単な会話

第8回：あいさつフレーズ

第9回：漢数詞

第10回：固有数詞

第11回：期末試験

第12回：授業態度40%、期末試験60%

【成績算出法】

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】中国語1

【担当教員】劉　厦

【科目コード】20220H0069　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】発音の方法がよくわかること、挨拶やホテルの簡単な案内ができること。授業中写真や動画を通して中国の文化、流行及び中国各地の経済や社会の変化も紹介する。

【教材】私たちの中国語

【教材費（概算）】500円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：①中国語の世界: 言葉、発音　②第１課 「自己紹介」　③時事：「中国のあれこれ」ドキュメンタリー

第2回：①発音と文法：中国語の文の組立て　②「ホテル用語51」Ⅰ：挨拶　③学習方法：スマホで中国語を学ぶ

第3回：①発音と文法　②時事：中国の観光スッポト　③第一課の暗誦

第4回：①発音と会話：「自己紹介」　②中国の名物料理　③学習方法：ボイスメモで中国語の耳を作り

第5回：①第2課「これはなんですか」　②発音：そり舌音　③ 学習法：スーパー単語記憶法

第6回：①発音と文法： 鼻音＆指示代名詞と物の説明　②会話練習「ホテル会話51」Ⅱ：レストランでの注文

第7回：①発音と会話　②第二課の暗誦　③時事：中国に起業している日本の若者たち

第8回：①文法：形容詞と説明文　②第３課 「これはいかがですか」

第9回：①会話練習　②作文：自己紹介　③時事：中国にいる日本人アイドル

第10回：①中国語で接客の練習　② ホテル用語を用い、自分なりの応用会話を作る　③第三課の暗誦

第11回：筆記試験　口頭発表

第12回：期末試験、口頭発表による。ただし、授業中に与える課題、授業態度も加味する。

【成績算出法】リスニングとスピーキングに重点をおいた学習である。発音の正しさと会話の流暢さを求める。録音宿題や課題に締切厳守、宿題4 回提出しないと失格。

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】中国語2

【担当教員】劉　厦

【科目コード】20220H0070　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】中国語１の単位修得をした者或いは同じレベルの方

【授業の目的】中国の伝統と文化、中国人の日常生活や習慣、急デジタル化社会に進む中国のあれそれを理解しながら中国語での案内と接客ができること。

【教材】私たちの中国語 II

【教材費（概算）】中国の伝統と文化,中国人の日常生活や習慣,急デジタル化社会に進む中国のあれそれを理解しながら中国語での案内と接客ができること.円

【受講目安人数】20名まで20名まで

【授業内容】

第1回：①異文化：中国人の性格、北京人と上海人の特徴　②第4課「買い物」　③数字の数え方

第2回：①異文化：中国の観光客が来日する理由　②文法：数量を表す語　③会話練習：値段交渉

第3回：①異文化：変わってくる中国観光客のショッピング意識　②金額や数字の練習 ③第5課「場所の案内」

第4回：①文法：場所を表す表現形　②会話練習：ホテルの施設や周囲環境の説明

第5回：①異文化：中国人が喜ぶ接客方法　②ホテルの案内や接客に役に立つフレーズ15

第6回：①第6課「レストラン」　②中国各地の名物料理の名前と読み方 ③文法：所有を表す表現形

第7回：①異文化：お金より「好き」～変わる中国商売人DNA　②会話練習：料理の説明や案内に役立つフレーズ15

第8回：①異文化：オンラインショッピング＆出前に依存する大都市中国の若者 ②会話練習：喫茶店＆レストランの注文

第9回：①第7課「チェックイン」　②中国人の名前の読み方　③文法：完了を表す表現形

第10回：①マナーの説明に役立つフレーズ15　②文法：選択疑問文　③ 口頭発表の練習

第11回：筆記試験 口頭発表

第12回：

【成績算出法】口頭試験と筆記試験の成績による。授業中に与える課題や録音宿題、そして授業態度も加味する

【備考】ホテル会話の実践練習です。発音の正しさと会話の流暢さで成績を決める。宿題や課題の締め切り厳守。宿

題を4回提出しないと失格。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】イタリア語

【担当教員】髙久　充

【科目コード】20220H0257　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】初級レベル

【授業の目的】イタリア語、イタリア文化に触れるとともに、簡単な会話ができるようにする。

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：始めよう（アルファベットと読み方①）

第2回：始めよう（読み方②）

第3回：自己紹介をしてみよう

第4回：名詞を勉強しよう

第5回：好きなものは？

第6回：ちょっと休憩（イタリア語で映画鑑賞）

第7回：物事を説明してみよう

第8回：形容詞を勉強しよう

第9回：何を持っているかな？

第10回：動詞を勉強しよう

第11回：レストランで

第12回：試験（買い物をしてみよう）

【成績算出法】出席、課題、試験

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】手話1

【担当教員】砂田　安貴子

【科目コード】20220H0017　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】特になし

【授業の目的】ホテルマンとして会話ができるようになる

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：自己紹介、挨拶、色

第2回：数字、ゲーム(都道府県)、家族、コミュニケーションの方法

第3回：乗り物、表情、住所

第4回：趣味、スポーツ、食べ物、聴覚障害について

第5回：時制、季節、伝言ゲーム（国名）

第6回：時の表現、総合復習（第1回から5回まで学んだことを復習）

第7回：音のない世界を体験しましょう。ホテルに関する手話（部屋、エレベーター、フロント、レストランなど）

第8回：会話をしましょう。（ホテルの中の会話）、問題点

第9回：会話をしましょう。（レストランでの会話）、問題点

第10回：総合会話

第11回：テスト前の復習（質疑応答、会話）

第12回：テスト

【成績算出法】テスト、小テスト（4回）、レポート（第7回に実施）

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】手話2

【担当教員】砂田　安貴子

【科目コード】20220H0104　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】手話1　修了者

【授業の目的】手話検定に向けて、たくさんの語彙を覚えましょう

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：復習（自己紹介、挨拶など手話1で学んだこと）／手話文法①

第2回：趣味：どんなもの（読書ならどんな本？など）　/デフファミリー、コーダについて　盲ろう者について／手話文法②

第3回：都道府県、交通手段にかかわる表現 / 部屋の間取りにかかわる表現

第4回：空間に関わる表現 / 絵や写真を見て描いてみよう

第5回：総合復習（第2回から4回まで）

第6回：文章による表現①

第7回：文章による表現②

第8回：会話表現①

第9回：会話表現②

第10回：会話表現③

第11回：総合復習（第8回から10回まで）

第12回：テスト

【成績算出法】テスト、出席率、授業態度

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】日本語1

【担当教員】渕上　舞子

【科目コード】20230H0071　　【単位数】1単位【履修対象】2023カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】

【教材】サービス日本語　ホテルスタッフ編

【教材費（概算）】1991円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：

第2回：

第3回：

第4回：

第5回：

第6回：

第7回：

第8回：

第9回：

第10回：

第11回：

第12回：

【成績算出法】

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】料飲サービス検定対策講座

【担当教員】NPO法人　FBO

【科目コード】20220H0336　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】なし

【授業の目的】飲食サービス業従事者がプロフェッショナルとして持つべき“飲食サービスの基本”の知識と能力の取得

【教材】新訂もてなしの基

【教材費（概算）】3630円

【受講目安人数】特になし

【授業内容】

第1回：・「飲食のプロフェッショナル」に必要な能力

第2回：・商品特性を知る必要性

・酒類全般の商品特性と分類

・発酵について

第3回：・さまざまな酒類と嗜好性食品、飲料の基礎知識

第4回：・さまざまな酒類と嗜好性食品、飲料の基礎知識

第5回：・さまざまな酒類と嗜好性食品、飲料の基礎知識

第6回：・世界の食文化と飲食の効果

第7回：・サービスの基本

第8回：・さまざまな酒類と嗜好性食品、飲料のサービス

第9回：・テイスティングの手法を学ぶ

第10回：・検定事前対策

第11回：・料飲サービス検定(学期末試験)

第12回：

【成績算出法】Day11に行う料飲サービス検定(学期末試験)の合格者(100点中70点以上)を本授業においての単位認定とする。

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ワインコーディネーター／ソムリエ講座

【担当教員】おおくぼ　かずよ

【科目コード】20220H0256　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】料飲サービス検定対策講座の単位を修得していること

【授業の目的】ワインの基礎知識とワインのサービスの基本の習得

【教材】ワインの基

【教材費（概算）】3300円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：酒類全般の中に見るワインの商品特性ⅠⅡ　[ワインの基P1～P36]

第2回：ワインの基礎知識ⅠⅡ　[ワインの基P37～P56]

第3回：ワインの基礎知識ⅢⅣ　[ワインの基P57～P105]

第4回：ワインの基礎知識Ⅴ［フランスワインの基礎知識②］　[ワインの基P73～P105]

第5回：ワインの基礎知識Ⅵ［ドイツワインの基礎知識］　[ワインの基P106～P118]

第6回：ワインの基礎知識Ⅵ［イタリアワイン、その他ヨーロッパ諸国のワインの基礎知識］　[ワインの基P119～P159]

第7回：ワインの基礎知識Ⅵ［日本ワイン、アメリカワイン、その他各国ワインの基礎知識］　[ワインの基P160～P196]

第8回：ワインのテイスティング　[ワインの基P197～P224]

第9回：ワインのサービス　[ワインの基P225～P242]

第10回：予備日

第11回：予備日

第12回：予備日

【成績算出法】出席率、授業参加への積極性

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ショーマンシップ

【担当教員】春日　雅則

【科目コード】20220H0102　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】特になし

【授業の目的】お客様に楽しんでいただくための「サービス精神」と「レストランサービスの高等技術」を学ぶ

【教材】教材費（ショーマンシップ）

【教材費（概算）】7000円

【受講目安人数】16名まで

【授業内容】

第1回：フルーツカット

第2回：シーザーサラダ

第3回：アイリッシュコーヒー

第4回：サーモンカット

第5回：チェリージュビレ

第6回：ワイン

第7回：ピーチフランベ

第8回：カクテル

第9回：クレープシュゼット

第10回：チキンデクパージュ

第11回：予備日

第12回：筆記試験

【成績算出法】出席率・授業態度・期末試験

【備考】授業内容は前後することがあります。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】メニュープランニング論

【担当教員】茂木　義之　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20220H0340　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】レストランにおけるメニューの重要性を認識し、西洋料理、日本料理、中国料理の特長を理解して、それぞれのメニューの構成を考える

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】特になし

【授業内容】

第1回：メニューの役割と機能

第2回：メニュー作成上のポイント

第3回：メニュー価格の設定

第4回：売上の管理と分析

第5回：メニューの構成　フランス料理①

第6回：メニューの構成　フランス料理②

第7回：メニューの構成　日本料理①

第8回：メニューの構成　日本料理②

第9回：メニューの構成　中国料理

第10回：総括

第11回：レポート作成

第12回：

【成績算出法】レポートの結果及び受講態度（理解度・積極性等）出席回数を総合的に勘案する

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

46年間にわたるホテル料飲部門、また複数のホテルにおいて総支配人を歴任した勤務経験を基に、主として料飲部門における基礎力を高めるため授業、また総支配人を目指すために必要となる実践的な授業を展開する

【科目名】レストランサービス技能検定受験対策講座

【担当教員】NPO法人　FBO

【科目コード】20220H0094　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】HRS3級合格

【教材】西洋料理　料飲接遇サービス技法（大改訂）

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：オリエンテーション / 第1章食材・飲料の基礎知識p.1～p.12

第2回：第1章食材・飲料の基礎知識p.13～p.37

第3回：第1章食材・飲料の基礎知識p.38～p.73

第4回：第1章食材・飲料の基礎知識p.74～p.94 / 第2章食材・飲料の基礎知識p.95～p.102

第5回：第3章宴会とレストランサービスp.103～p.125

第6回：第3章宴会とレストランサービスp.126～p.159

第7回：第3章宴会とレストランサービスp.160～p.177

第8回：第4章食文化p.178～p.204

第9回：第6章苦情対応と遺失物取り扱いp.205～p.214

第10回：第7章食品衛生及び公衆衛生p.215～p.250 / 第8章安全衛生p.251～p.273

第11回：期末試験

第12回：

【成績算出法】出席率、授業態度、授業内小テスト、期末試験

【備考】・Day02～Day10の授業内にて小テストを実施

・Day11に本番を想定した期末試験を行う

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】レストランサービス技能検定受験対策講座(実技)

【担当教員】熊谷　亮

【科目コード】20220H0302　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】検定試験申込者のみ。

【授業の目的】HRS資格認定試験合格を目指し、実技試験内容の理解と技術の向上を図る。

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：HRS資格試験についてのガイダンス

第2回：HRS対策講座

第3回：HRS対策講座

第4回：HRS対策講座

第5回：HRS対策講座

第6回：HRS対策講座

第7回：HRS対策講座

第8回：HRS対策講座

第9回：HRS対策講座

第10回：HRS対策講座

第11回：期末試験

第12回：

【成績算出法】総合点100点 (出席率、授業態度)

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ブライダル基礎

【担当教員】堀越　唯

【科目コード】20220H0196　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】１）ブライダル施設運営に関する実務知識を幅広く習得する。２）ブライダルコーディネート技能検定試験の合格を目指す。

【教材】ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード

【教材費（概算）】3850円

【受講目安人数】特になし

【授業内容】

第1回：指定テキストに沿った講義をする（以下同様）

第2回：

第3回：

第4回：

第5回：

第6回：

第7回：

第8回：

第9回：

第10回：

第11回：

第12回：

【成績算出法】出席率・授業態度・その他

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ブライダルマーケティング論

【担当教員】安東　徳子

【科目コード】20220H0161　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ホスピタリティビジネス、ブライダル業界に興味があり、上質な接客について学びたいという強い意志がある学生

【授業の目的】時代に合ったブライダルビジネスの全容の理解

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：ウエディングという仕事

第2回：結婚式の意味とホテルウエディングの価値

第3回：ウエディングマーケティング(集客)

第4回：ウエディングのお仕事紹介

第5回：ウエディングプランナーの仕事

第6回：ウエディングドレススタイリストの仕事

第7回：ウエディングヘアメイクの仕事

第8回：ウエディングフォトグラファーの仕事

第9回：ウエディングフラワーの仕事

第10回：ウエディングビデオグラファー

第11回：サウンド＆ライティングの仕事

第12回：海外ウエディングの仕事

【成績算出法】出席、授業毎の振り返りシート

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】PMS（プロパティマネジメントシステム)

【担当教員】鎌田　洋司

【科目コード】20220H0303　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】分数と一次方程式を理解（またはMust復習）していて、且つEXCELを習得したい人。また宿泊部門で将来マネジメント（管理職）を目指したい人、数字に強くなりたい人、予約マネジメントを深く知りたい人（レストランでも応用可）

【授業の目的】独学では無理です。H28年度サラリーマン平均年収521万円（約35歳）をホテルで超えるには？28歳で超えた本校OBが授ける、今（学生の内）から身につけておきたい6つの技術とは？

【教材】オリジナル教材、プリント配布（参照：HR300）

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：まずはこれを用意しました。

ゲームで体験！予約ビジネスの原理原則。予約を受ける人によって、年間数億円も変わるほど、予約で収益がブレることを知らなければいけない理由。

第2回：嫌いだったのに大好きになることってあるよね。

ホテルを評価してみよう！インデックス（数字）から何が見えるか？数字嫌いが→大好きに変わる方法！

第3回：数字が好物になったところで、ついでにEXCELも好きになってみる♡Ⅰ

第4回：数字が好物になったところで、ついでにEXCELも好きになってみる♡Ⅱ

第5回：Revenue Manegement（以下RM（Yield Managementともいう））は魔法か？

まずは、RMの原理原則を理解してみよう。

第6回：未来を見に行こう！どんなビジネスでも先を読むことが重要！タイムマシーンではなく統計学でⅠ by Excel

第7回：未来を見に行こう！どんなビジネスでも先を読むことが重要！タイムマシーンではなく統計学でⅡ by Excel

第8回：モテる＝ほぼ技術＝マーケティング？　予約を制するものはタイムシェアビジネスを制する。

第9回：ホテルのITをブレイクダウン。ホテルPMS相関図を理解しよう！

第10回：総復習

第11回：筆記試験

第12回：

【成績算出法】筆記試験100%

【備考】皆さんの資産となるよう、また数年後に質問してくる卒業生が多いため、最後の試験問題は永久保存版として差し上げます。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ツーリズム商品計画論１

【担当教員】高橋　康乃

【科目コード】20220H0321　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】ツーリズムと社会性・文化性についてケーススタディをグループ学習で「仮説」を設定する。近年マーケティングのキーワードとなっている女性対象のホテル／ツーリズム商品を造成する

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：ツーリズムについての基礎知識① オリエンテーション

第2回：ツーリズムについての基礎知識② 女子旅を考える

第3回：ツーリズムについての基礎知識③ 現代の「女子」観光事情

第4回：ツーリズムについての基礎知識④ 統計データから見る女性の観光旅行特性

第5回：ツーリズムと観光資源① 女性視点での旅行商品１

第6回：ツーリズムと観光資源② 女性視点での旅行商品２

第7回：課題発表１

第8回：観光政策の歩み

第9回：地域振興とツーリズムの果たす役割

第10回：インバウンドビジネスとツーリズム１

第11回：インバウンドビジネスとツーリズム２

第12回：課題発表２

【成績算出法】課題発表内容、出席状況、授業態度の総合による

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ツーリズム商品計画論２

【担当教員】高橋　康乃

【科目コード】20220H0322　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】ツーリズム商品計画論1を履修した学生が望ましい。

【授業の目的】ホテルと密接な関係にある旅行・観光についての基礎知識を深めながら本科目ではコンテンツツーリズムを概観し、「スポーツ」「エンターテイメント」「映画」「アニメ」などの様々なコンテンツを活用したツーリズム商品を考えていくことを目的とする。また、1回程度の校外実習も予定したい。

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】10名ゼミ形式で行うため10名程度を目安とする。

【授業内容】

第1回：1：ガイダンス / 授業概要と進め方、成績評価説明、注意事項

第2回：2：旅行業界と旅行商品についての基礎知識① / ・インバウンドとアウトバウンドマーケット／・国内と海外宿泊旅行の動向／・旅行商品と業種としての旅行業

第3回：3：旅行業界と旅行商品についての基礎知識② / ・旅行商品と業種としての旅行業／・旅行会社の業務としくみ

第4回：4：旅行業界と旅行商品についての基礎知識③ ・大手旅行会社の動向／・OTAについて／・ホテルと旅行会社

第5回：5：旅行業界と旅行商品についての基礎知識④ / ・中間テスト

第6回：6：コンテンツツーリズムとは

第7回：7：スポーツイベントとツーリズムの基本構造

第8回：8：エンターテイメントツーリズムの基本構造

第9回：9：映画(フィルム)コンテンツツーリズムの基本構造

第10回：10：アニメツーリズムの基本構造

第11回：11：課題発表準備

第12回：12：課題発表

【成績算出法】授業内での活動における達成度や参加姿勢（20%）、リアクションペーパーによるミニレポート（10%）、小テスト(20%)、最終講義での発表(50%）によって成績評価を行う。

【備考】受講者の学習の進捗度に応じて上記授業内容を変更することもある。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】観光心理学とデジタルマーケティング1

【担当教員】高橋　康乃

【科目コード】20220H0331　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】旅行者の心理や行動に関わる心理学的知識の習得が目標である。観光消費者に関わる現象に対して心理学的な知見を持って接近できる態度を身につける。

【教材】DiSC® Classic

【教材費（概算）】5610円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：観光心理学についての基礎知識①　オリエンテーション　・講義方針の説明

第2回：観光心理学についての基礎知識②　観光行動のプロセスに関するモデルについて

第3回：観光心理学についての基礎知識③　モチベーション１

第4回：観光心理学についての基礎知識④　モチベーション２

第5回：観光心理学についての基礎知識⑤　選択肢の縮減過程と選択肢の決定方略

第6回：観光心理学についての基礎知識⑥　旅行中の心理１

第7回：観光心理学についての基礎知識⑦　旅行中の心理２

第8回：観光心理学についての基礎知識⑧　旅行後の経験評価について

第9回：デジタルマーケティングについての基礎知識

第10回：デジタルマーケティングについての基礎知識②　インフルエンサーマーケティング

第11回：デジタルマーケティングについての基礎知識③　課題作成

第12回：デジタルマーケティングについての基礎知識④　課題発表

【成績算出法】出席率60%、小テスト／レポート20%、課題20%

【備考】受講者の学習の進捗度に応じて上記授業内容を変更することもある。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ホテルDXマーケティング概論

【担当教員】ポントコミュニケーションズ　派遣

【科目コード】20220H0347　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】基礎的なPCの操作方法を習得している学生。個人でインスタグラムやTwitterを使った経験のある学生が望ましい。

【授業の目的】ホテルオペレーションだけではなく「DX（デジタルトランスフォーメーション）の知見を活用できるスタッフ」になるためのDXの基礎知識と運用方法を習得することを本科目の目的とします。

単独での履修も可能ですが、「デジタルマーケティング概論」「観光心理学とデジタルマーケティングⅠ」を合わせて履修することを推奨します。

【教材】担当講師が用意するハンドアウトを使用する。

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】10名ゼミ形式で行うため人数は最大10名とします。

【授業内容】

第1回：デジタルトランスフォーメーションの基礎知識①

第2回：デジタルトランスフォーメーションの基礎知識②

第3回：デジタルトランスフォーメーションの基礎知識③

第4回：ホテルのデジタルトランスフォーメーション①

第5回：ホテルのデジタルトランスフォーメーション②

第6回：課題発表①

第7回：ホテルデジタルトランスフォーメーションの事例研究①

第8回：ホテルデジタルトランスフォーメーションの事例研究②

第9回：ホテルデジタルトランスフォーメーションの事例研究③

第10回：AR（拡張現実）とは

第11回：チャットボットの導入

第12回：課題発表②

【成績算出法】出席60%、小テスト20%、課題20%

【備考】受講者の学習の進捗度に応じて上記授業内容を変更することもある。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】総支配人論

【担当教員】茂木　義之　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20220H0138　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】総支配人の役割と責任を学ぶ

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】特になし

【授業内容】

第1回：総支配人の現状と役割

第2回：総支配人の責任

第3回：総支配人の業務と行動

第4回：総支配人に求められる6つのスキル

第5回：日本のホテル業界が乗り切るべき課題

第6回：総支配人への道

第7回：私版「総支配人の条件」

第8回：総支配人の職務記述書（概要）

第9回：総括

第10回：DVD鑑賞（開業ホテルにおける総支配人の役割）

第11回：レポート作成

第12回：

【成績算出法】レポートの結果及び受講態度（理解度・積極性等）出席回数を総合的に勘案する

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

46年間にわたるホテル料飲部門、また複数のホテルにおいて総支配人を歴任した勤務経験を基に、主として料飲部門における基礎力を高めるため授業、また総支配人を目指すために必要となる実践的な授業を展開する

【科目名】ＹＭＣＡとボランティア

【担当教員】北村　裕樹

【科目コード】20220H0265　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】YMCAの理念であるキリスト教と出会い、その精神に触れる

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：『東京YMCAの歴史とこれまでの活動について』

第2回：『東日本大震災の東京YMCAの初動とファンドレイズについて』

第3回：『石巻センターの活動と復興支援の今後について』

第4回：『東京YMCA国際ホテル専門学校の歴史』　　『東京YMCA国際ホテル専門学校の歴史』

第5回：『東京YMCAと知的障害児活動について』

第6回：『東京YMCAと野外環境教育のこれまでとこれから』

第7回：『世界YMCAの活動について』

第8回：『HIV/AIDS（１）』

第9回：『HIV/AIDS（２）』

第10回：『特別講義』

第11回：予備日

第12回：予備日

【成績算出法】出席

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】ビジネスコミュニケーション２

【担当教員】土井　里美　☆実務経験のある教員（詳細は注記参照）

【科目コード】20220H0301　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】発声や滑舌を更に磨いて「人の耳に入りやすい声」を確実なものにする。
言葉を選ぶ精度を上げること、構成に留意すること、心地よい反応をすることで思いやりのあるコミュニケーションを実現する

【教材】なし

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：「お客様の耳に入りやすい声」をもっと磨く / 人の耳がとらえやすい声を磨く。安定した発声でお客様の信頼を得られる声に。

第2回：発声クリニック / 個々の発生の弱点を見つけてブラッシュアップする

第3回：発音クリニック / 誰もが聞き取りやすい発音を手に入れる。決して聞き直されない発音を習得。

第4回：NOマスクに備えて～豊かな表情で好感度アップ / 発音を美しくする顔のエクササイズで人間味あふれる豊かな表情を身につける

第5回：要点を確実に伝える表現テクニック（１） / 相手にさりげなく大切なポイントをすりこめる間・緩急を使えるようになる

第6回：要点を確実に伝える表現テクニック（２） / イントネーションを使えるようになる。棒読みからの卒業 / 実践レポート 30分

第7回：間違えやすい言葉・気配りの表現／丁寧な言い換え / 正しく美しい日本語を知り、語彙力をアップする

第8回：言い換えのテクニック①言葉の毒を抜く / ネガティブな言葉の毒を抜くコツを覚える

第9回：言い換えのテクニック②ポジティブに伝える / 一見ネガティブな情報の中にプラスの要素を見つけておすすめする/言いにくいことを伝えるポイント

第10回：心をつかむ話のコツ / 共感を得たり、気を引いたりできる話し方のコツを覚える

第11回：簡潔で魅力的な挨拶（ショートスピーチ）をする/ 緊張をコントロールして簡潔に話す

第12回：実践レポート30分 /好印象を与える電話応対の仕方 / 電話応対のコツを覚えて応対に慣れる

【成績算出法】毎週当番で実施するエレベーターピッチ3回（6項目×2点×1回＝12点）、第６週の実践レポート①（38点満点）、第12週の全員のエレベーターピッチ（6項目×2点＝12点）、第12週の実践レポート②（38点満点）合計100点満点

【備考】毎回のルーティンワーク　　①発声練習（ビジネスで使える声を手に入れる定期的練習）　・②エレベーターピッチ　・美しい日本語　・他に聴かせる価値のあるネタ　等、６設定。６名程度の指名当番制

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

アナウンサーとして現在も活躍。基礎的な発声方法から、人に伝えることを目的とする実践的な授業を展開する

【科目名】プラクティカル・プレゼンテーション

【担当教員】坂　勇次郎

【科目コード】20220H0335　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】【授業の目的】

ホテルスタッフとして「初対面」であるお客様とどのようにかかわっていくか、基礎的な自己紹介から始まる我々の日常生活おいて必要な「自己表現」の方法を学ぶことを本講座の目的とする。

【この授業から習得できること】

「紹介」「発表」「報告」「提案」といった場面に有効なプレゼンテーションスキルを毎回実習形式で習得する。

この授業を履修すると、人前での「説明」と「説得」に関するスキルが習得でき、「わかりやすい言葉でお客様に接する能力のあるホテル・サービススタッフ」になることができます。

【教材】なし（プリント配布）

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】15名

【授業内容】

第1回：クラスメートを紹介できるスキル

第2回：プレゼンテーションしている自分をセルフチェックする

第3回：バーチャル国際空港のインフォメーションを行う

第4回：同期会の幹事になり準備から当日の進行を考える

第5回：ポスターによるプレゼンテーション

第6回：課題作成・発表①

第7回：プレゼンレジュメの作り方

第8回：「学生時代に力を注いだこと」をプレゼンする

第9回：バーチャルホテルのフロントインフォメーションを行う

第10回：課題発表②

第11回：コメント・質問力をつける

第12回：課題発表③

【成績算出法】出席率60%、課題20%、授業内小テスト20%(10%×2回)

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】表計算1

【担当教員】小野　洋子

【科目コード】20220H0099　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】「コンピューターの基礎知識」を修了していること。さらに授業への積極的な参加（＝出席）を望む。

【授業の目的】初心者を対象に、表の作成、グラフの作成、データベースの利用などの基礎を学ぶ。

【教材】よくわかるMicrosoftExcel2021基礎

【教材費（概算）】2,310(税込)円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：教科概要・表計算ソフトの役割・表作成（データ入力）

第2回：表作成（書式設定）

第3回：表作成（数式・関数）

第4回：表作成（相対参照と絶対参照）

第5回：表作成（その他・復習）

第6回：グラフ作成（円グラフ）

第7回：グラフ作成（縦棒グラフ）

第8回：グラフ作成（その他のグラフ・復習）

第9回：データベース（並べ替え・抽出）

第10回：データベース（復習）

第11回：表・グラフ・データベース（総復習）

第12回：期末試験

【成績算出法】出席率・課題提出内容・期末試験を総合採点

【備考】USBメモリ(ブック保存用に初回から持参)

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】日本語文書処理

【担当教員】小野　洋子

【科目コード】20220H0326　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】「コンピューターの基礎知識」を修了していること。さらに、授業への積極的な参加（＝出席）を求む。

【授業の目的】ビジネス文書の形式と日本語表現の基礎を学び、文書作成練習問題で理解度を試す。
さらに、演習課題を通して種々の実務文書に触れる。

【教材】よくわかるMicrosoftWord2021基礎

【教材費（概算）】2,310(税込)円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：教科概要・ビジネス文書の役割

第2回：ワードプロセッサー　MS-Wordの基礎 / 長文入力と編集　校正指示と修正技法

第3回：ビジネス文書の種類と標準形式 / 社外文書の例題

第4回：ビジネス文書のレイアウト技法 / 社内文書の例題

第5回：ビジネス文書における日本語表現 /文書演習①（社外文書）

第6回：文書演習⒏（社内文書）

第7回：文書演習③（表の作成）

第8回：文書演習④（その他の文書）

第9回：文書演習⑤

第10回：文書演習⑥

第11回：文書演習⑦

第12回：文書演習⑧

【成績算出法】出席率及び課題提出内容を総合採点

【備考】USBメモリ（ファイル保存用に初回から持参）

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】日商PC検定試験対策講座

【担当教員】ポントコミュニケーションズ　派遣

【科目コード】20220H0328　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】Microsoft Wordおよび、Excel、PowerPoint の操作技能を有すること

【授業の目的】日商PC検定試験文書作成２級に合格すること

【教材】・練習問題プリントを配付　（希望者のみ日商公式テキストを購入）

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】１０名程度

【授業内容】

第1回：日商PC検定試験の概要と目標設定 ・PC環境

第2回：・知識科目の概要 ・共通問題と科目別問題 ・例題と解説

第3回：・実技科目の概要 ・科目別出題範囲と傾向 ・例題と解説

第4回：・知識科目練習問題(1)　・実技科目演習問題①　・講評＆解説

第5回：・知識科目練習問題(2)　・実技科目演習問題②　・講評＆解説

第6回：・知識科目練習問題(3)　・実技科目演習問題③　・講評＆解説

第7回：・知識科目練習問題(4)　・実技科目演習問題④　・講評＆解説

第8回：・知識科目練習問題(5)　・実技科目演習問題⑤　・講評＆解説

第9回：・知識科目練習問題(6)　・実技科目演習問題⑥　・講評＆解説

第10回：・模擬試験１回目　（知識科目＆実技科目）

第11回：・模擬試験２回目　（知識科目＆実技科目）

第12回：・日商PC検定試験　受験（外部試験会場にて）

【成績算出法】課題提出および日商PC検定試験の受験結果を総合採点

【備考】・検定試験２級受験料は教材費とは別に必要です（1科目につき7,330円）

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】教養実務

【担当教員】ポントコミュニケーションズ　派遣

【科目コード】20220H0169　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】卒業後の社会人として最低限必要な「法律」「給与」「お金」についての基礎知識を概観する。これまで何となく控除されていた「所得税」など、具体例を中心に学習できる。

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：社会人に必要な法律・税務知識①・就業規則と職場の情報セキュリティ

第2回：社会人に必要な法律・税務知識②・勤務条件と労働法とのかかわり ・入社と退職の手続き

第3回：社会人に必要な法律・税務知識③・給与明細の見方　・社会保険と所得税・住民税

第4回：社会人に必要な法律・税務知識④・源泉徴収とは何か？ ・契約書と印鑑、領収書と収入印紙について

第5回：社会人に必要な法律・税務知識⑤・サラリーマンの副業と税金

第6回：社会人に必要な法律・税務知識⑥・年末控除と確定申告

第7回：社会人に必要な「お金」の知識①・人生のデザインとお金　これまでかかったお金とこれから必要なお金働くこととお金

第8回：社会人に必要な「お金」の知識②お金の知恵①　収入と支出を把握する/銀行の賢い使い方

第9回：社会人に必要な「お金」の知識③お金の知恵② 貯め方/使い方

第10回：社会人に必要な「お金」の知識④お金の知恵③　運用の仕方/借り方/損失に備え方

第11回：社会人に必要な「お金」の知識⑤・様々なリスクに対応するための手段　　お金のトラブルの避け方

第12回：授業内試験

【成績算出法】出席率60%、小テスト20%、課題20%

【備考】

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】話し方講座1

【担当教員】柿沼　郭

【科目コード】20220H0170　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】敬語力と説明力への関心と向上心を有すること。

【授業の目的】話せる敬語力とわかりやすい説明力の体得を目指す。

【教材】講師が作成・プリントしたテキストを使用

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】20名まで

【授業内容】

第1回：「磨こう！説明力、敬語力、音声表現力」　講座のねらい、パブリックスピーキングとは？自己紹介は説明の第一歩。

第2回：「敬語はことばの身だしなみ」　敬語はなぜ必要？若者ことば、バイトことばは卒業！「ウチ」と「ソト」の意識。

第3回：「わかりやすく話す①」　組み立てて話す。「話の組立表」の作り方。職場（部内）の連絡、迷子のお知らせ。

第4回：「わかりやすく話す②」　お客が店員に買いたいものを伝える。店員がお客に商品説明。話の組立表の活用。

第5回：「わかりやすく話す③」　電話で道案内。地図もメモ用紙もない。言葉だけでどう伝える？

第6回：「わかりやすく話す④」　一文一情報の短い文体を体得しよう。

第7回：「課題スピーチ『私のおもてなし体験』」（中間テスト）現場実習などでのもてなしの体験報告。（２分・録音）

第8回：「敬語を正しく使う①」　敬語の基本。尊敬語、謙譲語、丁寧語の使い分け。付加型と変換型。

第9回：「敬語を正しく使う②」　例文を敬語表現に直す問題。話すことで自分のことばにしよう！

第10回：「敬語を正しく使う③」　敬語の誤りを正す問題。一見正しそうに見える“ニセ敬語”に要注意。

第11回：「敬語力テスト」（筆記テスト）　よく使う基本的な敬語を出題。敬語力を確かなものにしよう！

第12回：「課題スピーチ『私がYMCAで学んだこと』」（期末テスト）２つの話題にしぼり、話を組み立てて生き生きと話そう！

【成績算出法】普段の授業への取り組み、敬語力テスト、２度の課題スピーチを総合して評価する。

【備考】滑舌ドリルの他、間違いやすい漢字の読み方、都道府県庁所在地など常識力を高めるドリルも随時取り入れる。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】リーダーシップ論

【担当教員】安藤　由美

【科目コード】20220H0298　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】VUCA時代を生き抜くための『人間力』を磨き、強靭なリーダーシップを発揮し続けるために必要なマインドとスキルを学びます。リーダーシップとは管理職業務に限らず、いちメンバーとしてどのようにチームに携わり、業務を推進していくのかが重要な軸になっています。足りないところに目を向けるのではなく、自身の強みをどのように発揮するのかが鍵となります。社会人になりたての時期は、右も左もわからない状態であることがほとんどですが、この研修を通して、社会の現状や起こり得る問題を解決策とともに学びます。社会人になり、周りに差をつけるスタートダッシュができる人材になることが可能です。毎回の講義は、楽しく学ぶがモットーです！

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】

【授業内容】

第1回：【人生の目的】「何のために」の目的やゴールがないと、行動に意義を持たせることが難しい。小さなことの積み重ねで人生は形成される。哲学を用いて紐解いていきます。

第2回：【コミュニケーション学　基礎編】コミュニケーションとは、人間関係を構築するツールである。人はどんな言葉、どんな言い方、どんな人の言葉に影響を受けてしまうのか？言葉の大切さを知る。多くの新入社員が『学生の頃に学んでおきたかった！』という人気の授業。

第3回：【コミュニケーション学　応用編】信頼関係を深く長く続かせるためには、多様性の理解から始まります。人はそれぞれ違うからこそ、組織に相乗効果が生まれる。「違う」は間違いではない！！お互いを知るワークを通して、理解を深めます。

第4回：【ロジカルシンキング　基礎編】論理的であることは、誰もが納得できる。相手を納得させることができなければ、ご自身が持つ提案も通らない。論理的に対話ができる人材は、社会では評価される。成果を出せる社会人になる必須項目。

第5回：【ロジカルシンキング　応用編】ケーススタディを通して、自分の考え方の癖を知る。正しく事実を掴むために、情報収集のクオリティーを上げるためにすることを演習で学ぶ。メンバーとの対話を恐れることなく話し合うことを学ぶ。

第6回：【ラテラルシンキング・クリティカルシンキング】水平思考を鍛え、仮説を立てられるようになることで、リスクマネジメントのスキルを手に入れる。物事には360度の見方があることを認識する。

第7回：【人材育成】人が成長するために必要なもの。十人十色、10人いれば10通りの教え方が存在する。教える側の準備、教わる側の準備。成長に必要なものとは何か。

第8回：【良いリーダーの定義】定義を知ることで、善悪の判断ができるようになります。間違いなく良いリーダーのもとで育つ人材は、良いリーダーになり、良い業績を残している。

第9回：【組織論】チームビルディング概要、タックマンモデルを用いて組織はどのように変化をしていくのかを知る。『組織も風邪を引く』その時の対応方法さえ知っておけば何も怖くない。

第10回：【リーダー力を身につける】メンバーを導くためにどのようなポイントを押さえておけば良いのか。誰にでもできる考え方、方法で強靭なリーダーシップを身につける。信頼されるリーダーは何をやって、何をあえてやらないのかを考える。

第11回：【社会で起こり得るエラー】事前にエラーを知っておけば、実際に起きた時に迷う時間がなくなる。『即対応』を可能にする考え方や、実行方法を知る。

第12回：【プレゼンテーション　基礎】欧米では、特に重要視されているプレゼンテーションスキル。グローバル人材として活躍するためにも、伝える表現力を身につけます。

【成績算出法】学んだことのレポート作成。形式問わず。

【備考】深い理解をもたらすために、自分の言葉でまとめることに意味がある。
【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】グローバルスタディ

【担当教員】ポントコミュニケーションズ　派遣

【科目コード】20220H0341　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】

【授業の目的】【授業の目的】

異文化コミュニケーションの重要性を理解、異文化コミュニケーションの理論を実践的に考える習慣をつけさせることを目的にする。

【到達目標・ゴール】

異文化コミュニケーションの重要性を理解し、異文化コミュニケーションで扱われている理論、実践での諸問題について知り、異文化コミュニケーションの理論を実践的に考える習慣をつけることができるようになる。

【教材】プリント配布

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】10名まで

【授業内容】

第1回：異文化概論　オリエンテーション

第2回：コミュニケーションと文化

第3回：基礎となる要因

第4回：国・地域ごとの特性

第5回：異文化対応　異文化との接触1　カルチャー・ショック

第6回：異文化との接触2　異文化適応

第7回：異文化比較１　日本と東アジア・日本と東南アジア

第8回：異文化比較２　日本と欧米・オセアニア

第9回：習慣　文化　言語による地域別対応１　交渉と契約

第10回：言語による地域別対応２　時間、空間の考え方の違い

第11回：宗教と文化　イスラム社会・キリスト教社会

第12回：課題発表

【成績算出法】出席率＝60%、課題(グループ発表10%、リアクションペーパー10%)＝20%、小テスト(2回を予定)＝20%

【備考】受講者の学習の進捗度に応じて上記授業内容を変更することもある。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】

【科目名】デジタルコミュニケーション論

【担当教員】ポントコミュニケーションズ　派遣

【科目コード】20220H0346　　【単位数】1単位【履修対象】2022カリキュラム年度

【科目区分】選択科目　　【選択必修区分】選択科目　【講義実習区分】講義科目

【履修条件】基礎的なPCの操作方法を習得している学生。個人でインスタグラムやTwitterを使った経験のある学生が望ましい。

【授業の目的】ホテルオペレーションだけではなく「ホテル商品を販売できるスタッフ」になるためのSNSマーケティングの基礎知識と運用方法を習得することを本科目の目的とします。

単独での履修も可能ですが、「ホテルDXマーケティング概論」「観光心理学とデジタルマーケティングⅠ」を合わせて履修することを推奨します。

【教材】担当講師が用意するハンドアウトを使用する。

【教材費（概算）】0円

【受講目安人数】10名ゼミ形式で行うため人数は最大10名とします。

【授業内容】

第1回：SNSマーケティングの基礎①

第2回：SNSマーケティングの基礎②

第3回：SNS運用のノウハウ①

第4回：SNS運用のノウハウ②

第5回：SNS運用のノウハウ③

第6回：ユーザーの目を引くコンテンツ作成術①

第7回：ユーザーの目を引くコンテンツ作成術②

第8回：ユーザーの目を引くコンテンツ作成術③

第9回：SNS活用活用術①

第10回：SNS活用活用術②

第11回：課題発表①

第12回：課題発表②

【成績算出法】出席60%、小テスト20%、課題20%

【備考】受講者の学習の進捗度に応じて上記授業内容を変更することもある。

【実務経験のある教員による授業科目の注記】